

管理機能付きで発音練習ができる！ 数研発音マスタープラス！

数研出版 編集部

1. 数研発音マスタープラスとは

現在の高等学校学習指導要領が実施された 2022 年度以降、弊社の教科書では QR コードコンテンツとして、アカウント登録不要で手軽に発音練習ができる「数研発音マスター」を配信してきました。おかげさまで多くのご採用校からご好評意見を頂戴しております。一方で、「生徒の取り組みを確認したい」「管理機能を付けて、発音練習をより促したい」などといった学習履歴管理機能へのご要望も多く寄せられてきました。

そのようなご要望にお応えすべく、2026 年度から発行する教科書では、従来のアカウント登録不要で手軽にご利用できる「数研発音マスター」に加えて、管理機能付きで発音練習ができる「数研発音マスタープラス」への対応を開始いたします。対象教材(→ p.7)をご採用いただくと、対応する教科書の「数研発音マスタープラス」のご利用権限が付与されます(追加費用不要)。

2. 数研発音マスタープラスでできること

「数研発音マスタープラス」では、以下の学習状況をご確認いただけます。

- ①練習回数、実施率
- ②スコア
- ③指摘内容
- ④録音音声

■ 1年1組

CSVダウンロード

ユーザー	実施率	練習回数
数研一部	1%	20回
数研二部	1%	15回
数研三部	1%	22回
数研四部	1%	15回
数研五部	1%	20回

▲クラス単位の学習履歴確認画面

「練習回数」と「実施率(全コンテンツのうち何%

学習済かを示す)」については、クラス単位でまとめてご確認いただけます。

No	実施日時	発音の正確さ		流暢さ		
		スコア	指摘数	スコア	指摘数	
▼ 1	2025/05/13 14:01:45	1.1/4.0	3箇所	1.0/4.0	2箇所	音声DL 音声削除
指摘項目		指摘内容				
発音の正確さ		leaving スコア：0.0 単語をクリックすると(タップすると)再生出来ますので、自分の発音とお手本の発音を何回も聞き比べてみましょう。 本ソフトウェアでは単語毎及び発音記号毎に発音の聞き取りやすさを 5 段階のスコアで判定しております。 0に近い程、発音に誤りがある。異なる発音に聞こえる可能性があります。 検定試験の音読問題では聞き取りやすさを数段階のスコアで判定されますので、3以上のスコアを繰り返しとれるように練習しましょう。 [Ei vi ŋ] の [ŋ] の発音を確認しましょう。自分の発音とお手本の発音を聞き比べてみましょう。				

▲生徒ごとの学習履歴確認画面

より詳細な②～④については、生徒ごとにご確認いただけます。スコアは、「発音の正確さ」「流ちょうさ(イントネーションやストレス)」の2つの観点から4点満点でつけられます。スコアが低かった単語については、上の画像のように発音のアドバイスが表示されます。生徒自身も学習履歴を確認できるので、うまく発音できなかったコンテンツを後日復習することも可能です。

①～③のデータについては、CSV 形式でダウンロード可能です。生徒が発音練習で録音した音声データについても、ダウンロードしてご確認いただけます。

3. まとめ

以上、ご紹介させていただきましたとおり、「数研発音マスタープラス」では、管理機能付きで発音練習ができます。生徒の発音練習を促すために、ぜひ「数研発音マスタープラス」をご活用ください。

なお、ご使用に際しては、対象教材をご採用後に別途お申し込みが必要です。詳しくは、対象教材同梱の案内をご確認ください。

※画面と機能は開発中のものです。実際の仕様とは異なる場合があります。